



区のおしらせ

令和6年(2024年)

6/15

No.1927

毎月1日・15日
25日(地域版)発行

せたがや



8月から

防災カタログギフト を配付します!

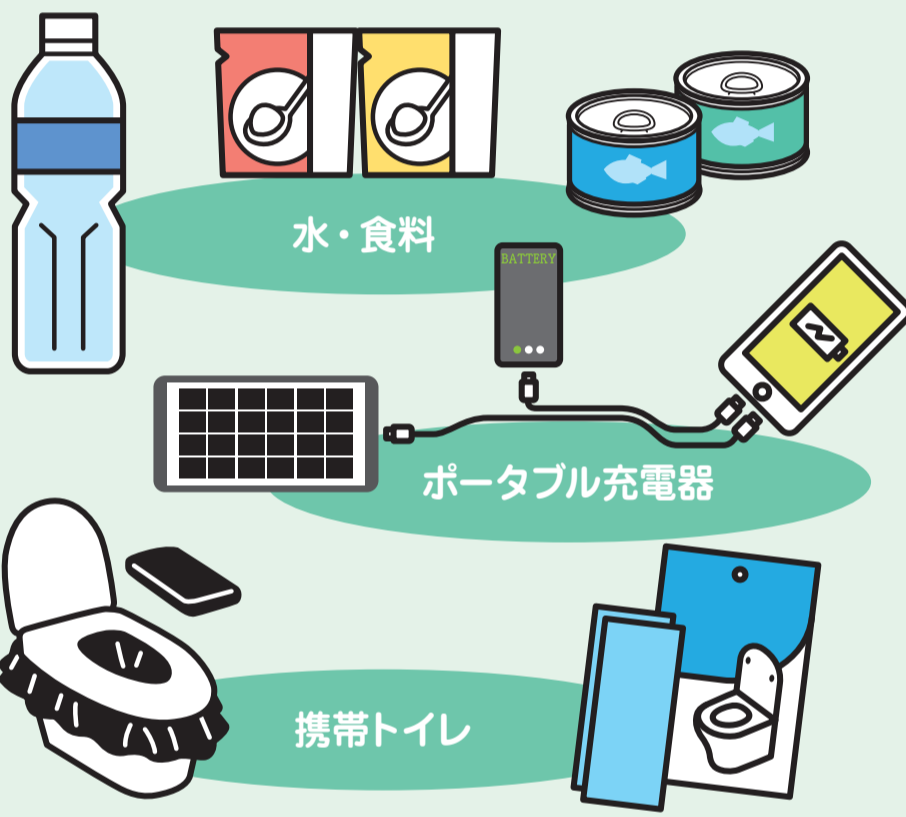
おひとり**3000円**相当の
ポイントをプレゼント

4人家族の場合は
1万2000円相当のポイント

いざというときの備えを 後回しにしていますか

在宅避難につなげるため、災害時の備えの支援と防災について考えるきっかけづくりとして、全世帯へ防災用品のカタログギフトをお送りします。

在宅避難で我が家に必要なものって?



水・食料

ポータブル充電器

携帯トイレ

1人最低3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう

私たちも
安心だニャン



対象 令和6年5月1日時点で区内に住民登録のある方

カタログ発送 令和6年8月1~31日
※世帯主あてに、カタログを1世帯あたり1冊郵送します。

商品の申込 カタログ到着から令和6年11月30日(消印)まで
せたがや防災ギフトホームページ(後記二次元コード)
またはハガキで申込
※世帯全員分をまとめて一度にお申し込みいただく必要があります。

商品発送 令和6年11月1日~7年3月31日

問合せ せたがや防災ギフトコールセンター

☎ **0120-952-200**

(平日午前8時30分~午後6時、土・日曜、祝・休日
午前9時~午後5時 ※12月29日~1月4日を除く。)

✉ setagaya-bousai@smart-gift.net



せたがや防災ギフトホームページ▶

地震が起きても避難所に行かなくていいよう備えましょう

- 避難所に行くことだけが避難ではありません。
- 避難所生活は過酷になることが想定されます。
- 世田谷区民は約92万人。区内の避難所は95か所。災害時の避難所は人であふれます。
- 余震が収まり火災などの危険がないことを十分確認し、自宅が安全な場合は、**在宅避難**をしましょう。

☎災害対策課 ☎5432-2262 ☎5432-3014

風水害への備えは2面へ

在宅避難

プライバシーが確保できる
感染症のリスクが低くなる
住み慣れた環境で家族やペットと過ごせる

避難所生活

十分な居住スペースが取れない
感染症のリスクが高くなる
多くの知らない人との共同生活



世田谷区長
のぶと
保坂展人

1月1日の令和6年能登半島地震で特に甚大な被害を受けた珠洲市と輪島市を4月26日に訪問し、皆様からお寄せいただいた災害支援金を500万円ずつお渡ししました。

被災地では地震で倒壊した建物が手つかずのまま残り、水道管の復旧も進んでおらず、被災した方々の避難生活も長引いています。仮設住宅は建設が進んでいるものの、生活再建までには長い道のりを要します。今後も息の長い支援を続けていきたいと思います。

世田谷区での大震災発生時には、区立小・中学校など95か所が避難所となります。ここには人口92万人全員が入ることとはできません。また、避難所生活は、プライバシーの確保も困難です。避難所は、自宅で生活できない方を受け入れ、それ以外の方には、「在宅避難」を推奨しています。

今回、在宅避難の備えへの一助として、また、ご家族で在宅避難への準備を話し合うきっかけにしたいと、カタログギフト1人3000円相当の防災用品が選べるカタログギフトを8月からお届けします。

被災後も住み慣れた自宅で生活が続けられるよう、家具の固定や水・食料、携帯トイレなどの準備を進めていただこうと思います。